

2014年1月27日

## 高機能フッ素樹脂フィルム「アフレックス®」を使用した大型天然芝スタジアムが ロシア・ソチに完成

**AGC** 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京都、社長：石村和彦）は、ロシアのソチ市に完成した収容人数4万人の天然芝スタジアムに、当社の高機能フッ素樹脂フィルム「アフレックス®」が使用されたことをお知らせします。



スタジアムの全景  
独創的なデザインにアフレックスが貢献

今般ソチ市に完成したスタジアムは、ロシアの著名なフィシュト山の冠雪の頂をモチーフにした独創的なデザインを採用しています。外装部分に厚さ0.1～0.25mmの軽量で柔軟なアフレックス約78,000㎡を2層または3層で使用し、滑らかで曲線的な形状を実現しました。

同スタジアムは、当社の透明フィルム「アフレックス」により、風雪を防ぐ快適な観戦環境を保ちながら、会場内から近傍の山々を一望できる解放感溢れる設計です。アフレックスは、太陽光を良く通しスタジアム内の天然芝の育成に貢献する高光透過性に加え、長寿命化につながる耐候性、汚れが付きにくい非粘着性なども備えており、スタジアムのメンテナンス面などでも高い性能を発揮します。また、光の拡散性に優れるため、色鮮やかなライトアップによりイベントを華やかに演出します。

アフレックスは、ドイツのアリアンツ・アリーナやブラジルのFIFAワールドカップ会場の一つとなるイタイバヴァ・アリーナ・ペルナンブコを始め、世界的なスポーツイベントや万博の会場などに数多く採用されており、建築材料として注目され、採用が拡大しています。

AGCは、長年培ったフッ素化学の技術力を活かし、これからも世界的なイベントを盛り上げていくとともに、快適な生活空間の創造に貢献していきます。

以上

◎本件お問合せ先：AGC 旭硝子(株) 広報・IR室長 小林 純一

(担当：駒崎 TEL:03-3218-5603、E-Mail:[info-pr@agc.com](mailto:info-pr@agc.com))

## ■AGCグループについて

旭硝子株式会社（AGC）を中心とするAGCグループは、建築・自動車・ディスプレイ用ガラス、化学品、その他の高機能材料を世界のお客様に提供するソリューション・プロバイダーです。100年以上に渡る技術革新の歴史の中で、当社グループはガラス、フッ素化学、セラミックスなどの分野で世界トップクラスのコア技術を培ってきました。現在、グループ全体の年間売上は約1.2兆円、従業員数約5万人であり、およそ30の国や地域でグローバルに事業を展開しています。

AGCグループに関する情報は、当社WEBサイト [www.agc.com/](http://www.agc.com/) をご覧下さい。

## <ご参考>

高機能フッ素樹脂フィルム「アフレックス®」使用事例

- (1) ミュンヘン・サッカースタジアム “Allianz Arena”（ドイツ）
- (2) 全天候型スタジアム “Forsyth Barr Stadium”（ニュージーランド）
- (3) レシフェ・サッカースタジアム “Itaipava Arena Pernambuco”（ブラジル）

(1)



(3)



(2)



©Copyright Reproduced Courtesy of Vector Foiltec